

A large decorative graphic on the left side of the page, consisting of a large purple square with a smaller yellow square cut out from its bottom-right corner.

# 2021年3月期第2四半期 決算説明資料

株式会社フレアス  
東証マザーズ：7062

-  **2021年3月期第2四半期 実績**
-  **2021年3月期見通し**
-  **今後の事業戦略と方針**
-  **当社のSDGs**
-  **Appendix**



# 2021年3月期第2四半期実績



徐々に施設への立ち入りが可能になったことに伴い、2Q以降回復へ

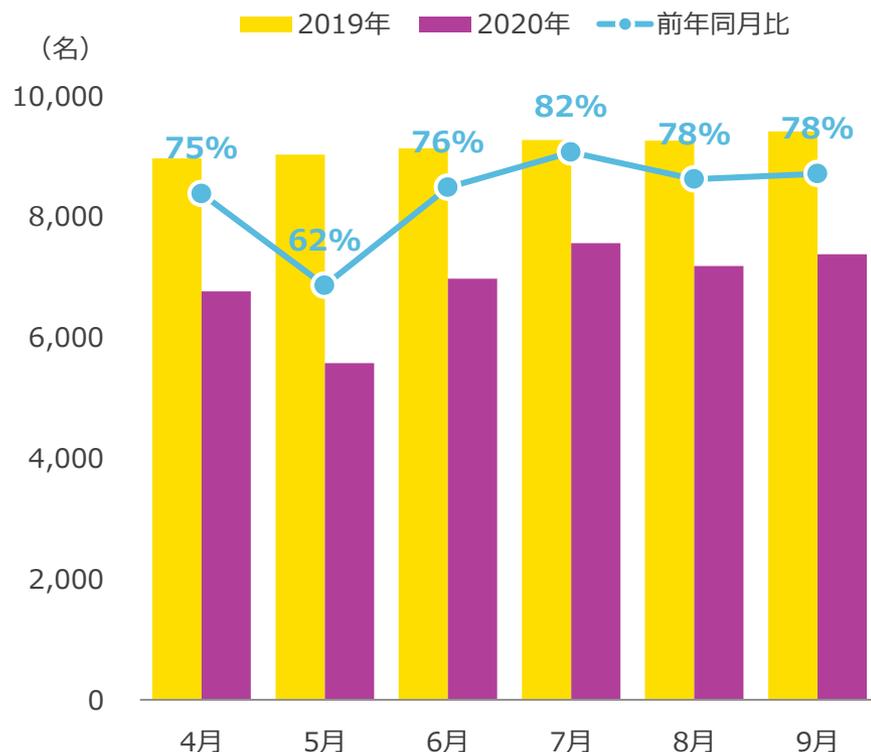
- 2Q累計の売上高は前同比12.6%減収となったが、2Qに限れば3.3%減収にまで回復  
2Q累計の営業利益は149百万円の赤字だが、2Qは25百万円に黒字転換
- 緊急事態宣言解除以降、施設への立ち入りが徐々に可能となった  
サービス休止期間が発生したことにより、利用者の症状悪化傾向が見られたため、  
従前よりも高頻度でのサービス提供を推進、利用回数の増加につながった
- テレビ会議システムを利用したりリモート研修会の開催など、新規加盟店のための研修を再開、  
「フレアス在宅マッサージ」フランチャイズ加盟数が前期末比18拠点増加  
「レイス治療院」フランチャイズ加盟店も加わり、在宅マッサージの拠点数は298拠点に

## M&Aによるマーケットシェアの拡大

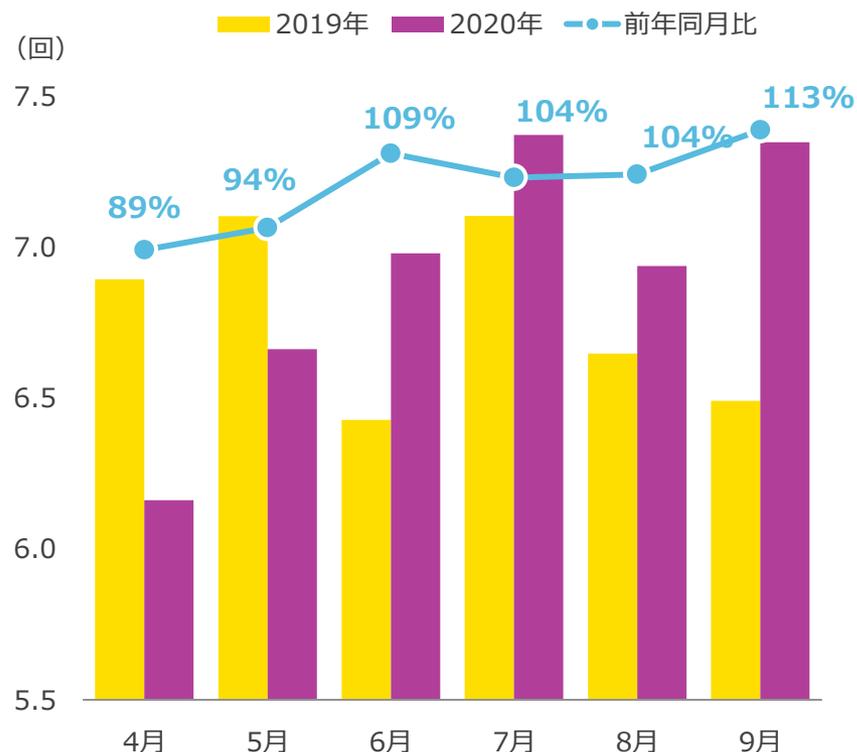
- 「レイス治療院」を運営する株式会社オルテンシアハーモニーの全株式取得による支払いが完了し、取得価格が確定（456百万円）  
増加拠点数：直営店1拠点 フランチャイズ加盟店165拠点 計166拠点  
のれん等：のれん 253百万円 契約関連無形資産 300百万円（いずれも13年償却）
- 今後もM&Aなどを活用し、サービス提供エリアの拡大を目指す

- 利用者数は緊急事態宣言解除後に回復に転じ、前年同月比80%前後の水準に
- サービス中止期間中に利用者様の症状悪化傾向が見られたため、高頻度でのサービス提供を推進しており、一人あたりの利用回数は9月には前年同月比113%の水準まで伸長

利用者数推移（前年同月比）



利用者一人あたり月間利用回数推移（前年同月比）



# 2021年3月期第2四半期 決算の概要

- 2Q累計の売上高は前年同期比12.6%減収となるも、2Qに限れば3.3%減収まで回復
- 営業利益も149百万円の赤字となったが、2Qは25百万円と黒字転換、増益となった

(百万円)	2020/3期			2021/3期				対前年同期比	対直近予想比
	1Q	2Q	2Q累計	1Q	2Q	2Q累計			
	実績	実績	実績	実績	実績	直近予想	実績		
売上高	944	985	1,929	733	952	1,724	1,685	▲12.6%	▲2.3%
売上原価	541	556	1,097	518	516	1,026	1,034	▲5.7%	+0.8%
売上総利益	402	429	832	214	436	698	651	▲21.7%	▲6.7%
販管費	367	427	795	389	410	854	800	+0.6%	▲6.3%
営業利益	34	1	36	▲175	25	▲155	▲149	-	-
営業外収益	3	4	7	5	47	51	52	+570.6%	+1.6%
営業外費用	1	1	2	1	4	3	6	+116.6%	+83.2%
経常利益	37	4	41	▲171	68	▲107	▲102	-	-
当期純利益	21	▲2	18	▲132	46	▲91	▲86	-	-
1株当たり当期純利益	9.37	▲1.24	8.09	▲57.01	19.86	▲39.35	▲37.11	-	-
売上高総利益率	42.7%	43.6%	43.1%	29.3%	45.8%	40.5%	38.6%	▲4.5pt	▲1.9pt
営業利益率	3.7%	0.2%	1.9%	-	2.7%	-	-	-	-
経常利益率	4.0%	0.4%	2.2%	-	7.2%	-	-	-	-

※2020/3期1Q、2Qは連結財務諸表を作成していませんが、参考情報として2020/3期1Q及び2Qの個別財務諸表との比較を記載しております。

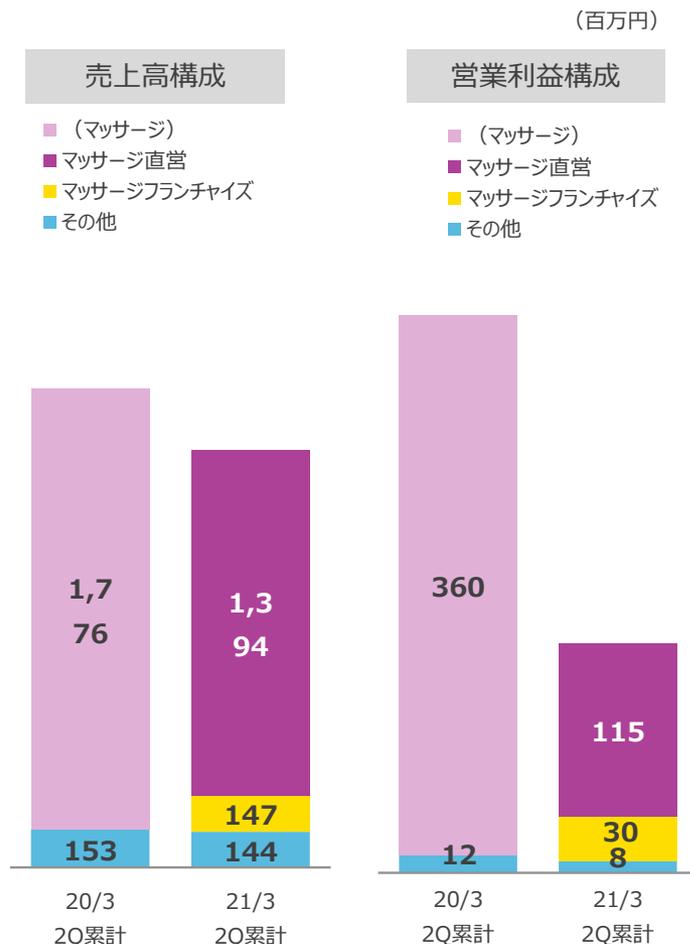
# 2021年3月期第2四半期決算（セグメント）

- 2Q累計は直近予想比では減収となったものの、生産性コントロールや経費削減等の効果もあり、直近予想に比べ営業赤字は改善

(百万円)	2020/3期 2Q累計	2021/3期 2Q累計		対前年 同期比	対直近 予想比
	実績	直近予想	実績		
<b>売上高</b>	1,929	1,724	1,685	▲12.6%	▲2.3%
（マッサージ）	1,776	-	-	-	-
マッサージ直営	-	1,421	1,394	-	▲1.9%
マッサージフランチャイズ	-	159	147	-	▲7.5%
その他	153	143	144	▲5.9%	+0.3%
<b>営業利益</b>	36	▲155	▲149	-	-
（マッサージ）	360	-	-	-	-
マッサージ直営	-	126	115	-	▲8.8%
マッサージフランチャイズ	-	43	30	-	▲29.8%
その他	12	4	8	▲32.8%	+77.1%
調整	▲336	▲331	▲303	-	-
レセプト数（件）	9,936	9,190	8,221	▲1,715	▲969
利用回数（回）	373,340	294,971	287,265	▲86,075	▲7,706
拠点数(FC含む)	97	302	298	+201	▲4

※利用回数は鍼灸サービスに係る回数を除く

※利用者数及び利用回数はマッサージ直営事業における数値を記載しております。

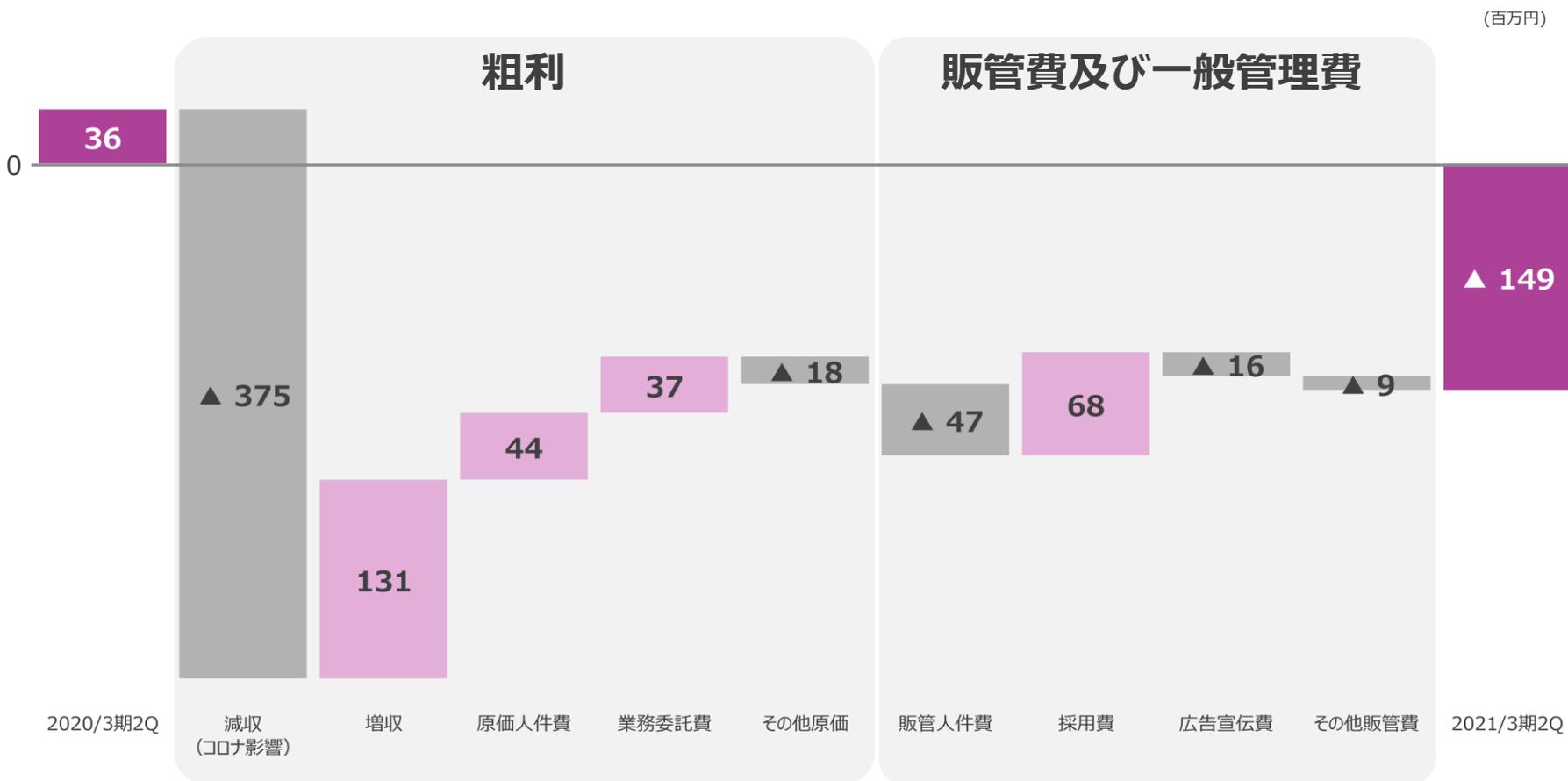


※2020/3期2Qは連結財務諸表を作成していませんが、参考情報として2020/3期2Qの個別財務諸表との比較を記載しております。

※2021/3期1Qより、セグメント区分を変更しておりますが、参考情報として2020/3期2Qのマッサージ事業の数値を記載しております。

# 2021年3月期2Q累計 営業利益増減要因（前年同期比）

- 売上高は、コロナ禍により施設への立入禁止や施術を控える利用者があり減収となったが、フランチャイズ店の増加で減収の一部をカバーした
- 業務委託費の減少や前2Q累計で増加した採用費を削減したものの、営業赤字となった

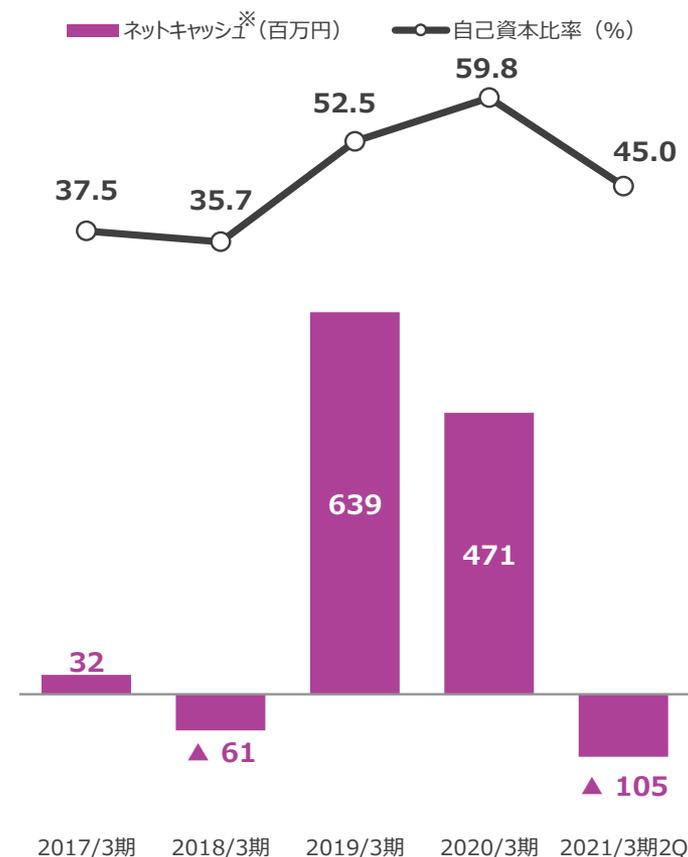


※2020/3期2Qは連結財務諸表を作成していませんが、参考情報として2020/3期2Qの個別財務諸表との比較を記載しております。

# バランスシートの状況

- オルテンシアハーモニー買収に伴うのれん等の計上により、無形固定資産が528百万円増加
- マッサージフランチャイズ事業拡大のための運転資金の確保を目的として、資金借り入れを実施
- 2021/3期 2Qの現預金残高は2,429百万円と、厚いキャッシュポジションを継続

(百万円)	2020/3期	2021/3期 2Q	対前期末比
流動資産	2,354	2,429	+74
現預金	1,155	1,175	+20
売掛金	995	877	▲117
固定資産	150	707	+556
有形固定資産	20	18	▲1
無形固定資産	49	578	+528
資産合計	2,505	3,136	+631
負債	1,007	1,724	+716
有利子負債	683	1,280	+596
純資産	1,497	1,412	▲84
負債純資産合計	2,505	3,136	+631



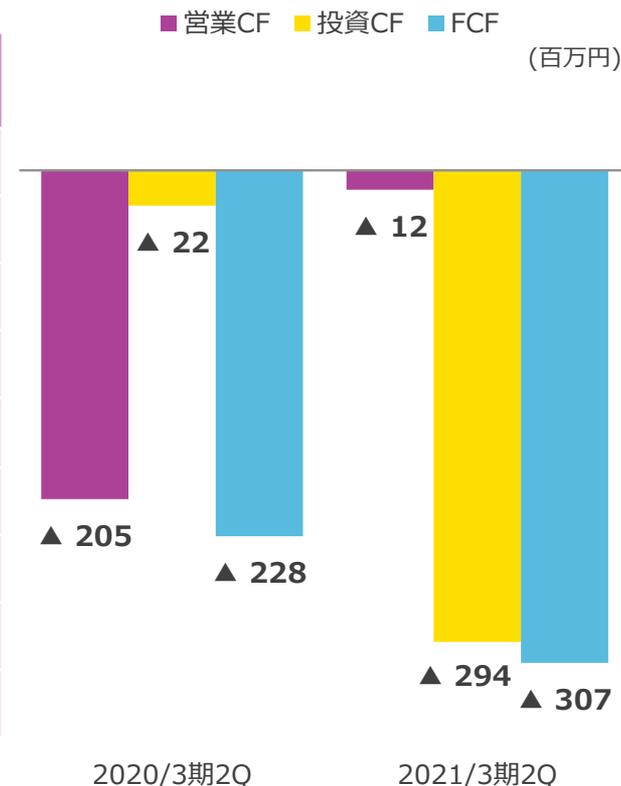
※2020/3期末は連結財務諸表を作成していませんが、参考情報として2020/3期末の個別財務諸表との比較を記載しております。

※ネットキャッシュ (ネットキャッシュ=現預金-有利子負債)

# キャッシュフローの状況

- 売上債権の減少等があったが、赤字となり営業CFは▲12百万円
- 子会社株式取得等により投資CFは▲294百万円となり、FCFも▲307百万円となった
- 長期借入の増加等により、現金及び現金同等物の期末残高は1,168百万円

(百万円)	2020/3期 2Q累計	2021/3期 2Q累計	対前年 同期比
営業CF	▲205	▲12	+193
税金等調整前当期純利益	41	▲107	▲149
売上債権の増減	▲72	117	+190
法人税等支払額	▲130	9	+139
投資CF	▲22	▲294	▲272
FCF*	▲228	▲307	▲79
財務CF	3	327	+324
有利子負債増減	▲130	325	+456
現金及び現金同等物の期末残高	1,133	1,168	+34



※FCF (フリーキャッシュフロー = 営業キャッシュフロー + 投資キャッシュフロー)

※2020/3期末は連結財務諸表を作成していませんが、参考情報として2020/3期末の個別財務諸表との比較を記載しております。



# 2021年3月期見通し



# 2021年3月期 通期 決算予想

- 通期予想は、子会社の買収影響や、コロナ禍の影響もゆるやかな回復を見込む
- 営業利益は、コロナ禍の影響により通期も赤字を見込むが、雇用調整助成金等の活用により、通期の経常利益は黒字着地を計画

(百万円)	2020/3期	2021/3期		対前期比
	実績	上期実績	通期予想	
売上高	3,962	1,685	3,881	▲2.0%
売上原価	2,220	1,034	2,039	▲8.1%
売上総利益	1,742	651	1,841	+5.7%
販管費	1,667	800	1,882	+12.9%
営業利益	74	▲149	▲41	—
営業外収益	50	52	113	+123.3%
営業外費用	5	6	6	+18.5%
経常利益	119	▲102	66	▲44.7%
当期純利益	56	▲86	17	▲69.7%
1株当たり当期純利益	24.48	▲37.11	7.40	▲69.7%
売上高総利益率	44.0%	38.6%	47.4%	+3.4pt
営業利益率	1.9%	—	—	—
経常利益率	3.0%	—	1.7%	▲1.3pt

※2020/3期は連結財務諸表を作成していませんが、参考情報として2020/3期の個別財務諸表との比較を記載しております。

# 2021年3月期 通期 決算予想 (セグメント)

- マッサージ直営事業では、再開する介護施設の増加基調が、下期もゆるやかに継続することを前提に、売上利益ともに下期回復を見込む
- マッサージフランチャイズ事業では、「フレアス」「レイス」の両ブランドでの順調な成長を見込む

	2020/3期	2021/3期		対前年同期比
	実績	上期実績	通期予想	
<b>売上高</b>	3,962	1,685	3,881	▲2.0%
(マッサージ)	3,653	—	—	—
マッサージ直営	—	1,394	3,154	—
マッサージフランチャイズ	—	147	401	—
その他	309	144	324	+5.1%
<b>営業利益</b>	74	▲149	▲41	—
(マッサージ)	757	—	—	—
マッサージ直営	—	115	565	—
マッサージフランチャイズ	—	30	49	—
その他	31	8	46	+48.6%
調整	▲715	▲303	▲703	—
レセプト数 (件)	7,702	8,221	9,905	+2,203
利用回数 (回)	739,281	287,265	640,429	▲98,852
拠点数(FC含む)	113	298	333	+220

※利用回数は鍼灸サービスに係る回数を除く

※利用者数及び利用回数はマッサージ直営事業における数値を記載しております。

※2020/3期は連結財務諸表を作成していませんが、参考情報として2020/3期の個別財務諸表との比較を記載しております。

## 緊急事態宣言解除以降、徐々に施設への立ち入りが可能に

### withコロナの取り組み

- サービス中止期間中に利用者の症状悪化傾向が見られ、高付加価値マッサージ\*サービスの高頻度提供を推進、サービス提供回数の増加を図る

### 高付加価値マッサージ\*

疼痛緩和

関節可動域拡大等



\* 高付加価値マッサージ：従来のマッサージに比べ、より高い技能を基に利用者の満足度を高める施術と定義

### FC展開

#### (株) オルテンシアハーモニー子会社化

- マーケットシェアの拡大  
【在宅マッサージ拠点数】  
**113拠点** (2020/3末) から  
**298拠点** (2020/9月末) に
- 「フレアス」「レイス」の両ブランドで  
更なるサービス提供拠点の拡大を目指す



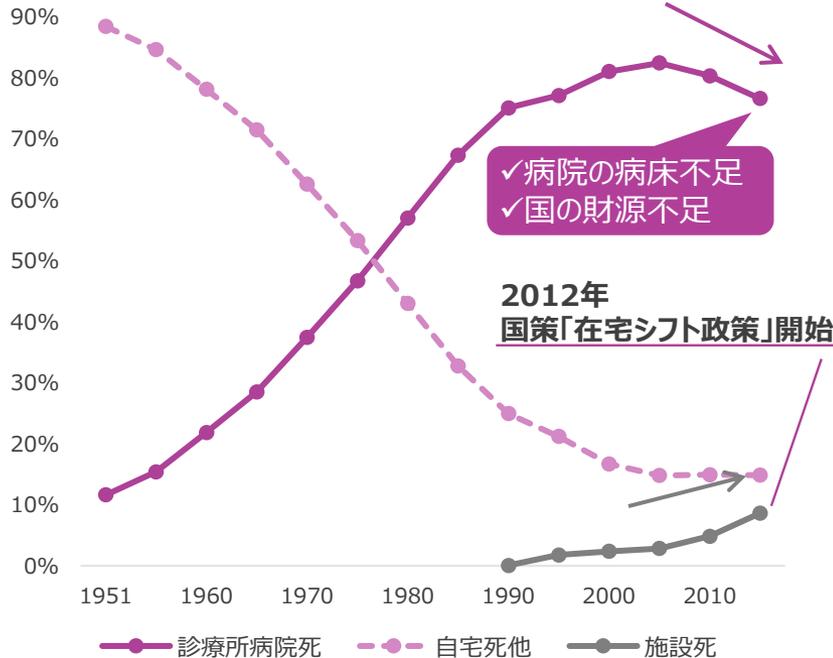


# 今後の事業戦略と方針



- 高齢者意識・社会保障・病床不足観測(2025年に約30万床不足\*)から在宅ケア需要拡大
- 国策としても、地域包括ケアシステム\*\*構想により「在宅シフト政策」を推進
- 「2025年問題」の解決企業として、当社はフランチャイズによりサービス提供エリアを拡大予定

死亡場所(構成比)の年次推移



出所：厚生労働省「平成27年人口動態統計（確定数）の概況」

\* 出所：厚生労働省「平成29年6月30日第11回医療計画の見直し等に関する検討会」資料

\*\* 高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができる包括的な地域支援・サービス提供体制

会社理念と経営ビジョン

**会社理念**  
人と人とのふれあいを大切にし、  
社会貢献すると共に、  
社員の物心の幸せを追求する



**経営ビジョン**  
全国津々浦々に一人でも多くの方に  
速やかにフレアスのサービスを提供し、  
日本の在宅事情を明るくする。

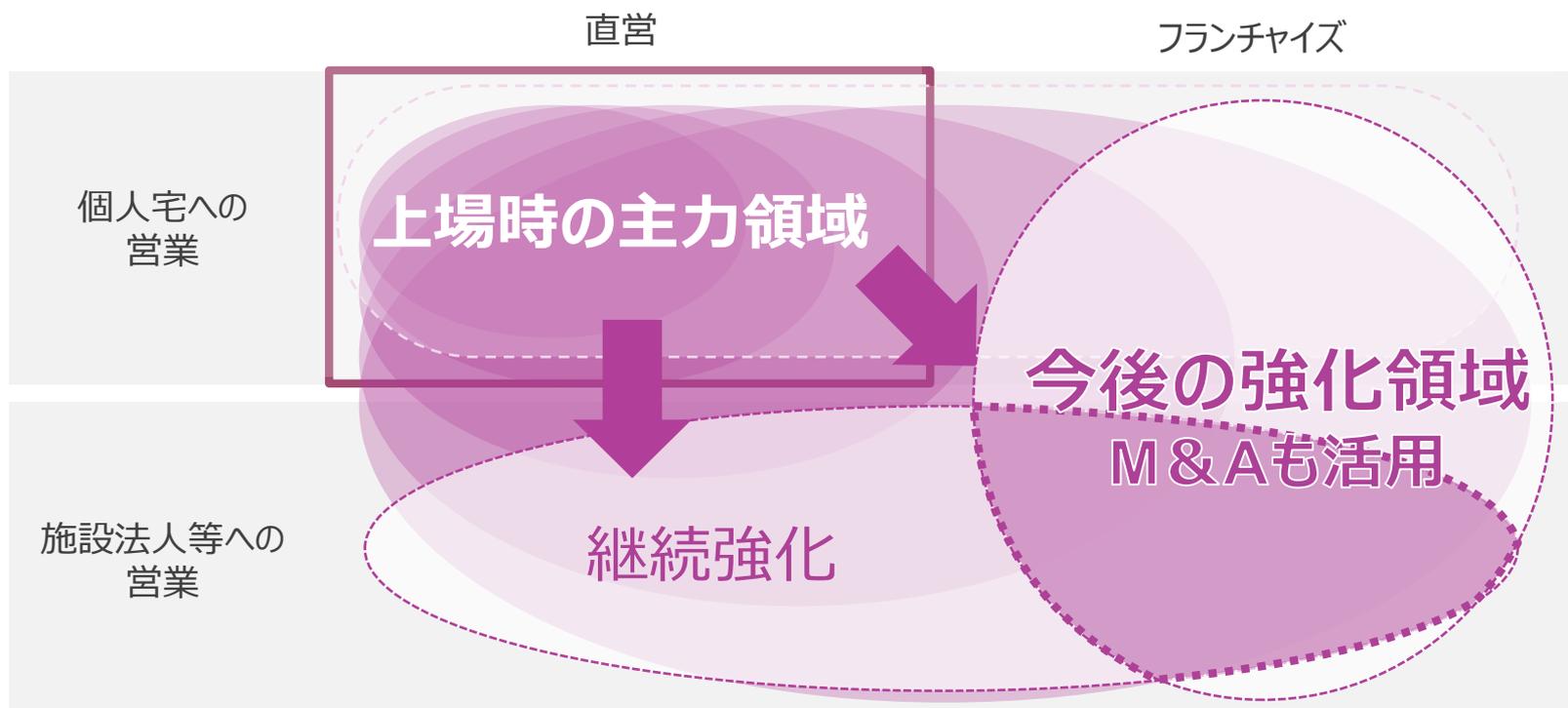
より高い技能を基に利用者の満足度を高める  
「高付加価値マッサージ」を、  
国家資格者であるマッサージ師によって、  
在宅訪問で提供するサービスカンパニー

# 事業戦略・方針

- 法人営業の専門部署を設置し、在宅に加えて介護施設などへの営業を強化
- 「2025年問題」への対応のためフランチャイズを強化、フランチャイズ拠点の活用を加速
- 経営ビジョンの実現に向けて、引き続きM&Aも活用し、更なる拠点数拡大を目指す

## 経営ビジョンの実現

全国津々浦々に一人でも多くの方に速やかに  
フレアスのサービスを提供し、日本の在宅事情を明るくする。



# フランチャイズ事業強化

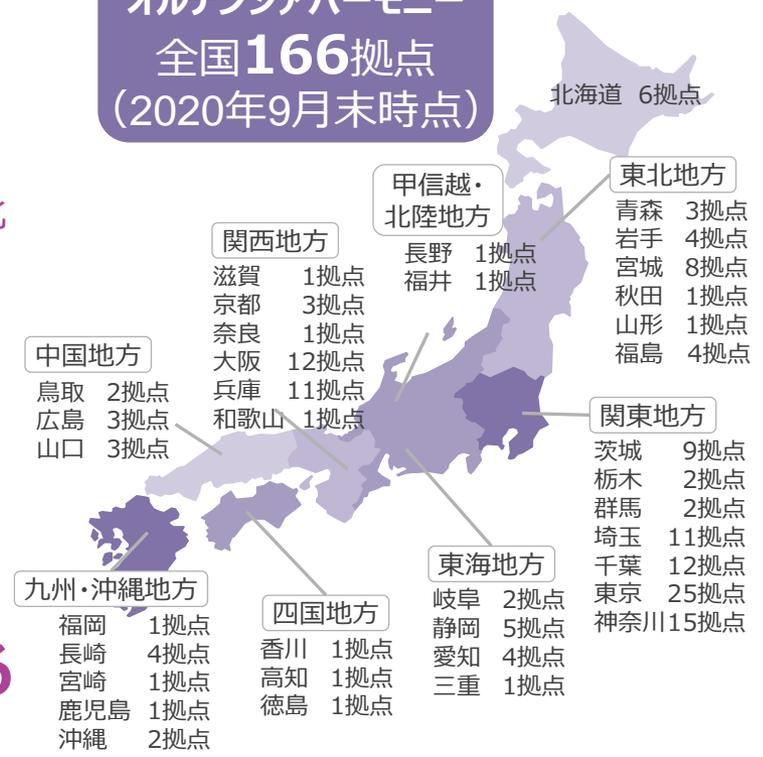
- (株) レイスヘルスケアから、マッサージフランチャイズ事業を買収
- レイスヘルスケアは在宅マッサージで全国166拠点（2020年9月末時点）を運営管理
- 本件M & Aを通じて、サービス提供エリアを大きく拡充



株式取得  
100%子会社化  
(2020年6月1日)



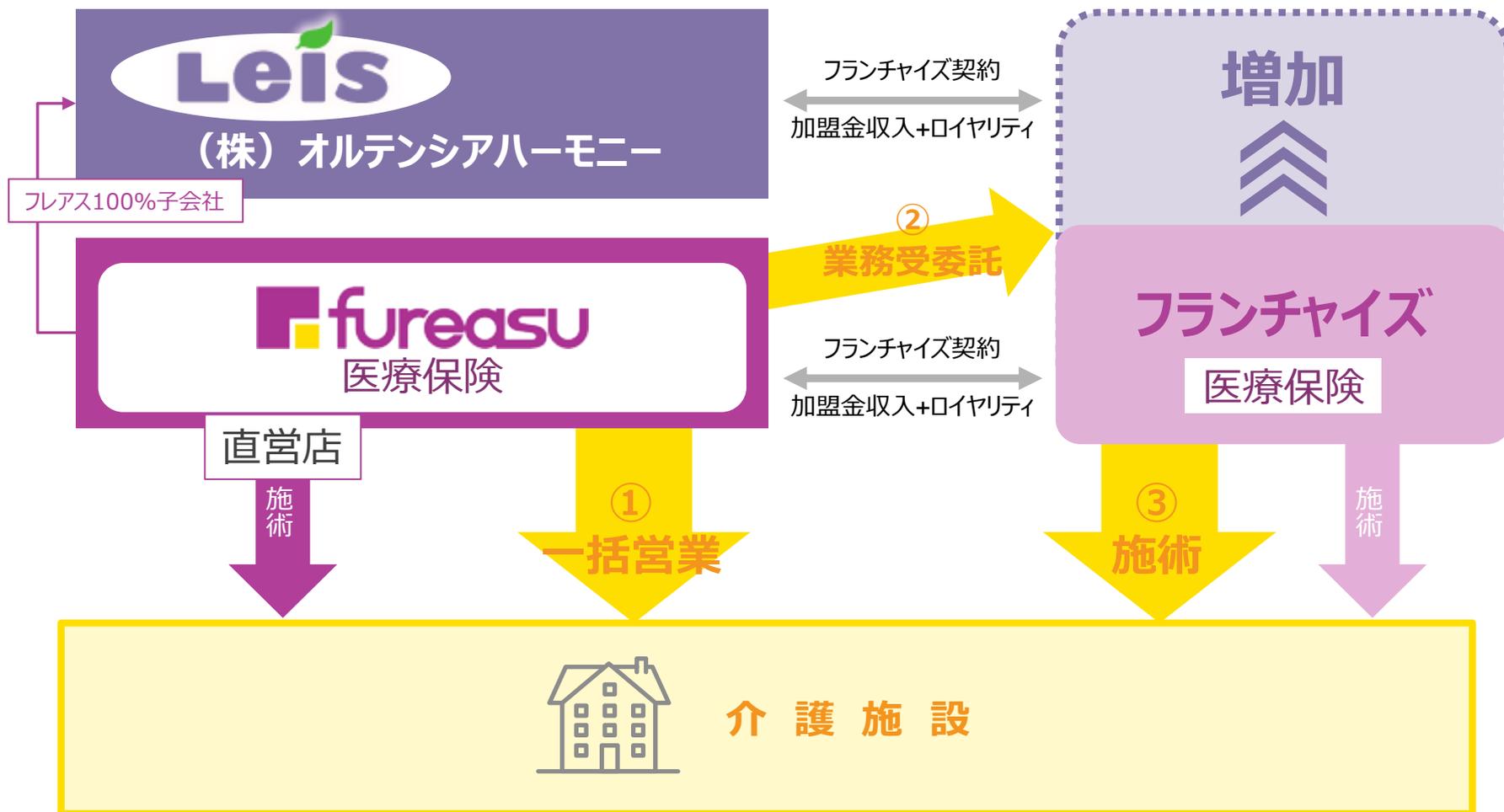
オルテンシアハーモニー  
全国166拠点  
(2020年9月末時点)



▶ 在宅マッサージ業界における  
マーケットシェアのさらなる拡大を図る

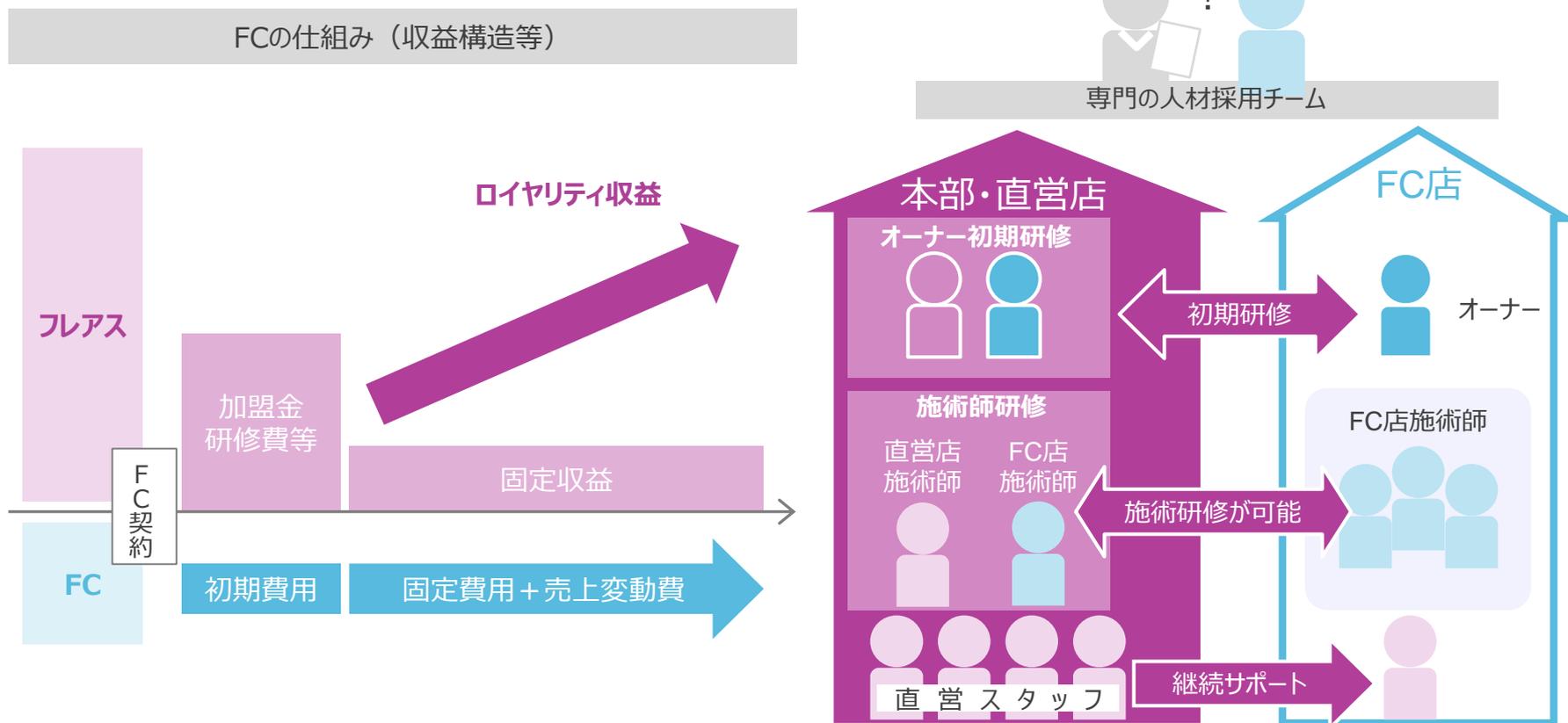
# 自社施設とフランチャイズ店とのシナジー

- 介護施設等への営業は当社相談員が一括で行い、自社拠点もしくは業務委託したフランチャイズ店のマッサージ師が施術
- M & Aによりフランチャイズ拠点が增多することで、複数の介護施設を持つ法人への提案が容易に



# フランチャイズ事業の仕組み

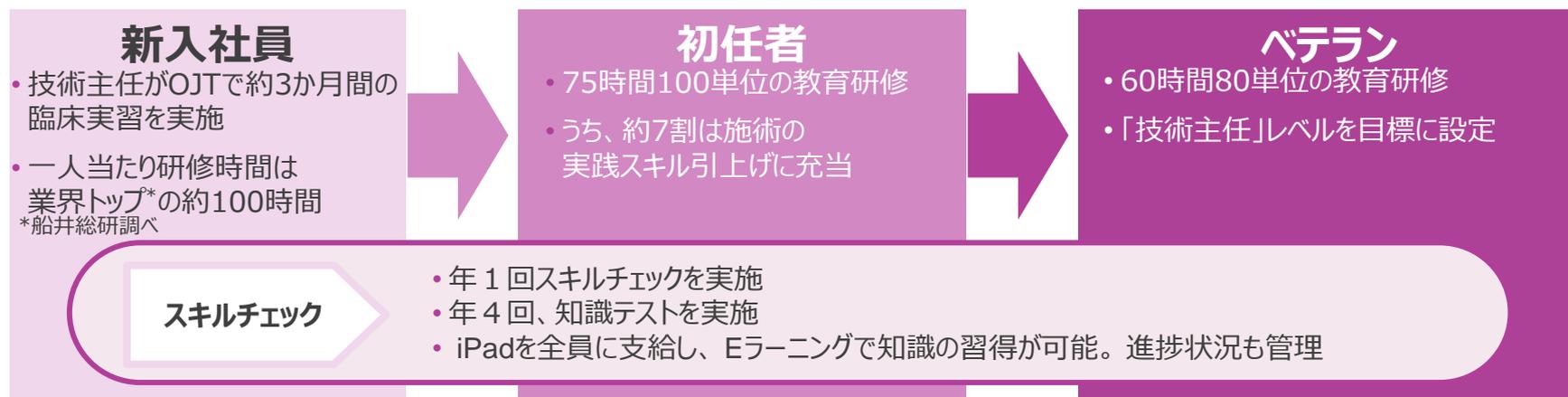
- 当社の人材採用チームがフランチャイズ加盟店のマッサージ師（施術師）の採用を支援
- フランチャイズ加盟オーナー初期研修に加え、フランチャイズ加盟店のマッサージ師も当社研修への参加が可能
- 当社直営店のスタッフが、近隣フランチャイズ加盟店をサポート、効率的な運営が可能



# (参考) フレアスの教育制度 (高い技術品質維持)

- 高い技術品質の維持に向けて、正社員へのトレーニング研修義務付けで対応
- 当社が社員に義務付ける研修時間は業界団体が設ける基準を大きく上回る
- スキルチェック体制が確立しており、技術品質の維持が可能
- 高い技術を持つ直営店施術者がフランチャイズをサポート、フランチャイズ店の技術品質を維持

## 当社研修システム



業界の認定する「訪問マッサージ師」よりもはるかに多い研修時間を設定し、高いスキルの維持向上に注力

### 業界団体\*による研修システム

「認定訪問マッサージ師」：22.5時間 (基礎講義10.5時間、実技講義12時間)の受講により5年間の認定証

(\* )全日本鍼灸マッサージ師会、日本あん摩マッサージ指圧師会、等

- 「2025年問題」に備えて、フランチャイズ（FC）事業を本格展開しサービスエリアを拡充
- サービス提供空白地域や都心部を主体に、潜在需要の取り込みを図る

## 在宅マッサージの拠点数

**113** 拠点 (2020/3末) → **298** 拠点 (2020/9末) → **333** 拠点 (2021/3末予定)

(内直営店 85拠点) (内直営店 87拠点) (内直営店 86拠点)  
(内フランチャイズ 28拠点) (内フランチャイズ 211拠点) (内フランチャイズ 247拠点)

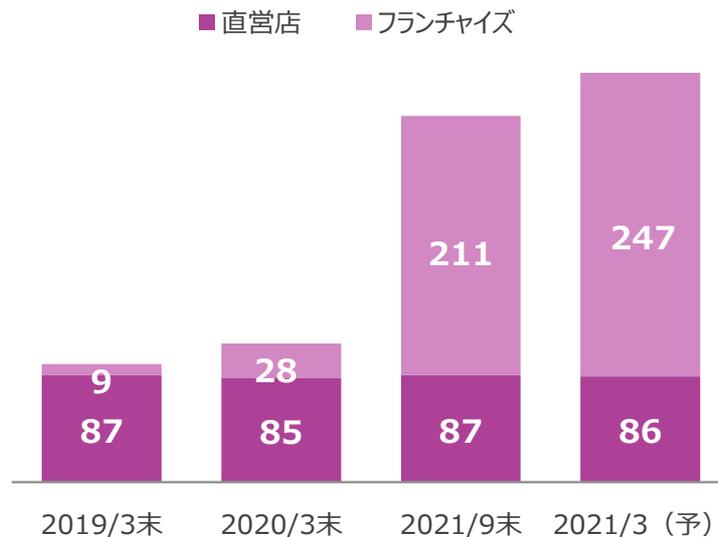


- ・ フレアスの認知度向上
- ・ ケアマネジャーとの連携強化
- ・ 施設法人への展開

潜在需要取り込みに向けて  
サービス提供エリアと、  
拠点数拡大ピッチを加速

2021/3末時点  
**333拠点計画** ※

(直営店86拠点、フランチャイズ247拠点)



- 営業の当社一本化と、直営店スタッフによるフランチャイズ店フォローアップでシナジーを創出
- M & Aも活用したフランチャイズの本格展開により成長スピードを加速

## 経営ビジョンの実現に向けて

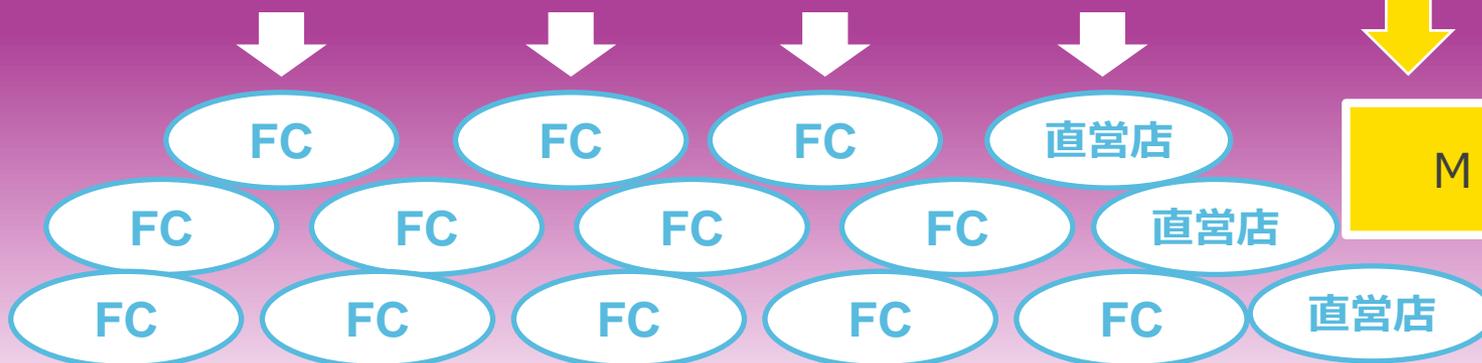
全国津々浦々に一人でも多くの方に速やかに

フレアスのサービスを提供し、日本の在宅事情を明るくする。

在宅マッサージ **333** 拠点 ※

フランチャイズ増加

直営店増加



## 今後さらなる拡大を図る

※2021年3月末時点における予定拠点数



# 当社のSDGs



- 経営ビジョンのもと、拠点数拡大のスピードを加速、医療難民の解消という社会課題解決に貢献
- 障がい者雇用比率23.7%（2020/3末）、盲学校へのリクルーティングを積極的に行い、自立支援を促し、第一線で、戦力としての活躍する場を提供
- 従業員の女性比率42.1%（2020/3末）、性別・年齢に関わらず、誰もが活躍できる職場の提供

**3** すべての人に健康と福祉を

**3. すべての人に健康と福祉を**

あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する

「全国津々浦々に 一人でも多くの方に 速やかにフレアスのサービスを提供し、日本の在宅事情を明るくする。」の経営ビジョンのもと、**質の高い在宅マッサージサービスを全国に提供することが急務であると考え、FC展開やM&Aを活用し、店舗展開及び社員教育を急ピッチですすめている。**

※病床は2025年に30万床不足すると予想されており、医療難民の解消が社会課題となっている  
(出所：厚生労働省「平成29年6月30日第11回医療計画の見直し等に関する検討会」資料より)

**8** 働きがいも経済成長も

**8. 働きがいも経済成長も**

すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)を推進する

障がい者の自立支援  
盲学校へのリクルーティングを積極的に行い、  
**当社の障がい者雇用比率 23.7%**（2020/3末）

※民間企業の法定雇用率2.2%  
従業員が一定数以上の規模の事業主は、従業員に占める身体障害者・知的障害者・精神障害者の割合を「法定雇用率」以上にする義務があります。（障害者雇用促進法43条第1項）

**5** ジェンダー平等を實現しよう

**5. ジェンダー平等を實現しよう**

ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る

女性の活躍  
女性が働きやすい環境  
女性活躍のための取り組みなど

■ 従業員比率  
(2020年3月末)

**42.1%**

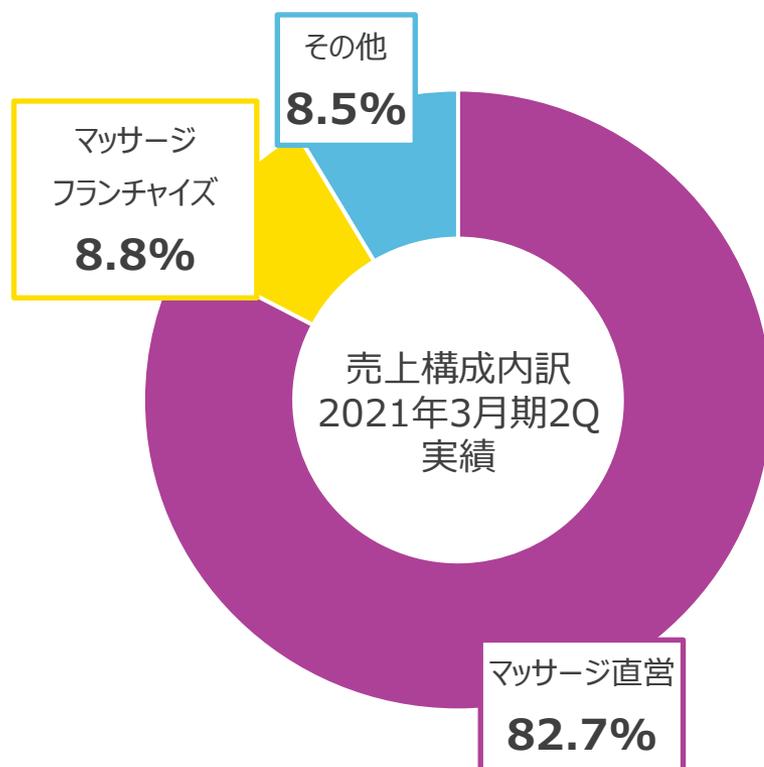
■ 女性 ■ 男性



# APPENDIX



- 当社事業の9割超はマッサージ事業。活動困難者(介助なしで通院が困難な方 以下同)が対象。医師の指示・同意に基づいてサービスを提供
- その他の事業で訪問看護及び介護などを実施



## マッサージ直営・マッサージフランチャイズ事業

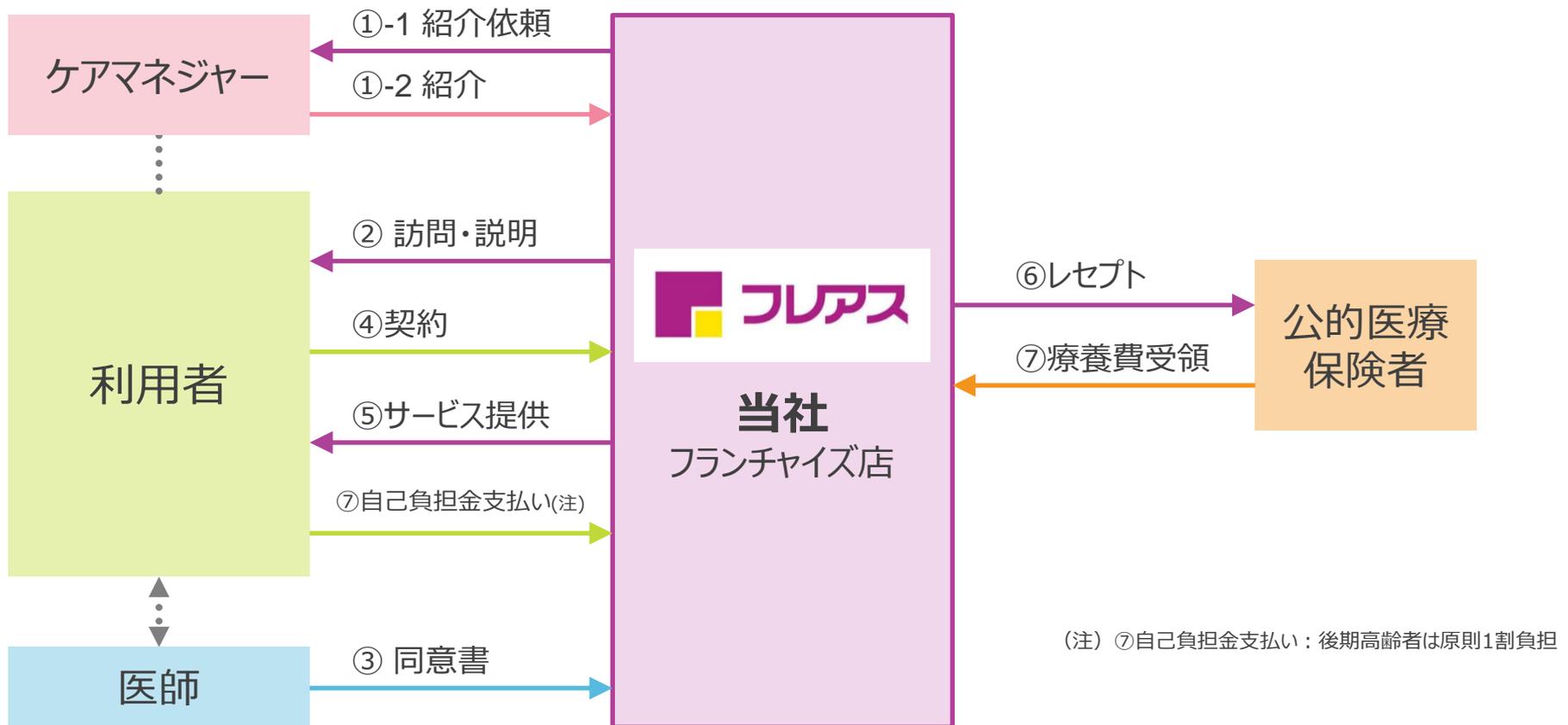
- 在宅療養者を対象に、医師の指示・同意に基づいて、訪問マッサージ(医業類似行為)を提供
  - ・ 事業所数：298拠点（FC含む/2020年9月現在）
  - ・ 屋号：「フレアス在宅マッサージ」「レイス治療院」

## その他の事業

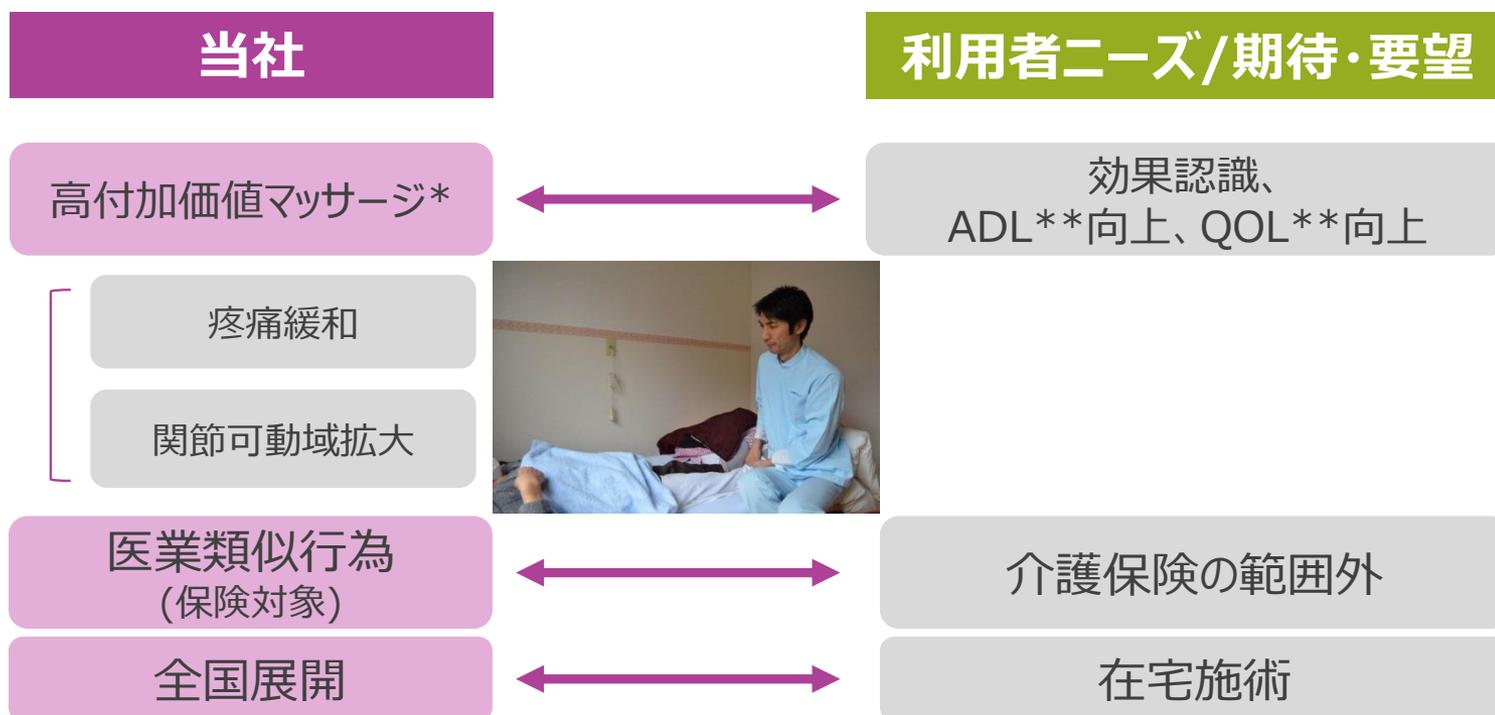
- 患者宅や高齢者施設等への訪問看護事業が主体
- 訪問看護・介護ステーションを運営(6拠点)。高齢や疾病・負傷・障害による在宅療養患者に対し、医師の指示・同意に基づいて、看護を提供
- 「理学療法士」による訪問リハビリテーションも展開

# ビジネスフロー（医療保険適用型マッサージ事業）

- ケアマネジャーからの紹介を受け、医師の同意の下、訪問マッサージを施術
- 利用者より「療養費」支給申請の委任を受け、公的医療保険者にレセプトを申請・請求



- マッサージに対する利用者の期待・要望（効果不明、在宅ニーズ）などに対応
- 特に、高い技能（高付加価値マッサージ）を維持・向上する仕組みを構築(体制を確立)
- マッサージ師を正社員として人材確保し、少子高齢化で増加する潜在利用者を着実に獲得
- 2020年3月期2Qからフランチャイズ事業を本格展開、成長スピードの加速を目指す



\* 従来のマッサージに比べ、より高い技能を基に利用者の満足度を高める施術と定義

\*\*ADL; Activity of Daily Life、QOL; Quality of Life



# 訪問マッサージ市場動向



# 療養費（医療保険対象）の推移

- マッサージ療養費は介護保険スタートに伴うケアマネージャーが呼び水となって浸透が加速。過去16年で約7倍に急成長
- 要支援・要介護認定者は現在641万人超。過去17年で約2.5倍に拡大

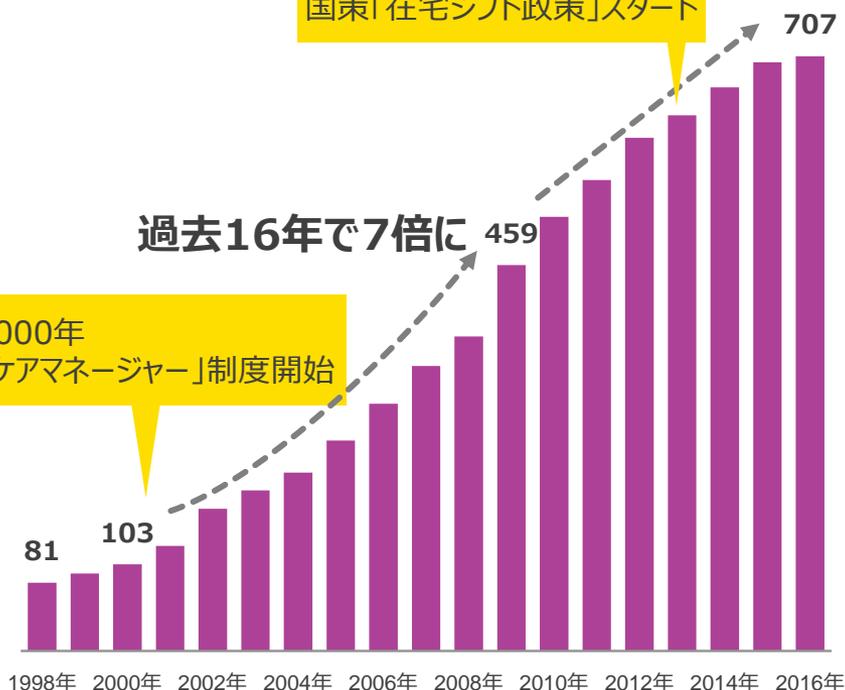
マッサージ療養費の推移

(億円)

2012年  
国策「在宅シフト政策」スタート

過去16年で7倍に

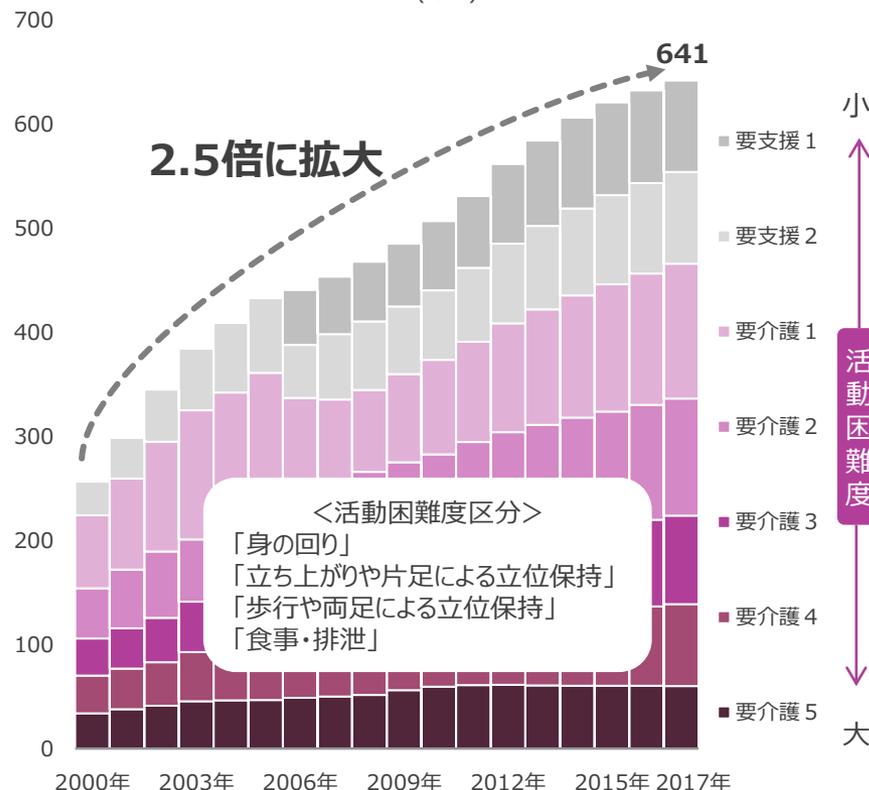
2000年  
「ケアマネージャー」制度開始



出所：厚生労働省保健局医療課及び厚生労働省保健局調査課

要支援・要介護認定者数推移

(万人)

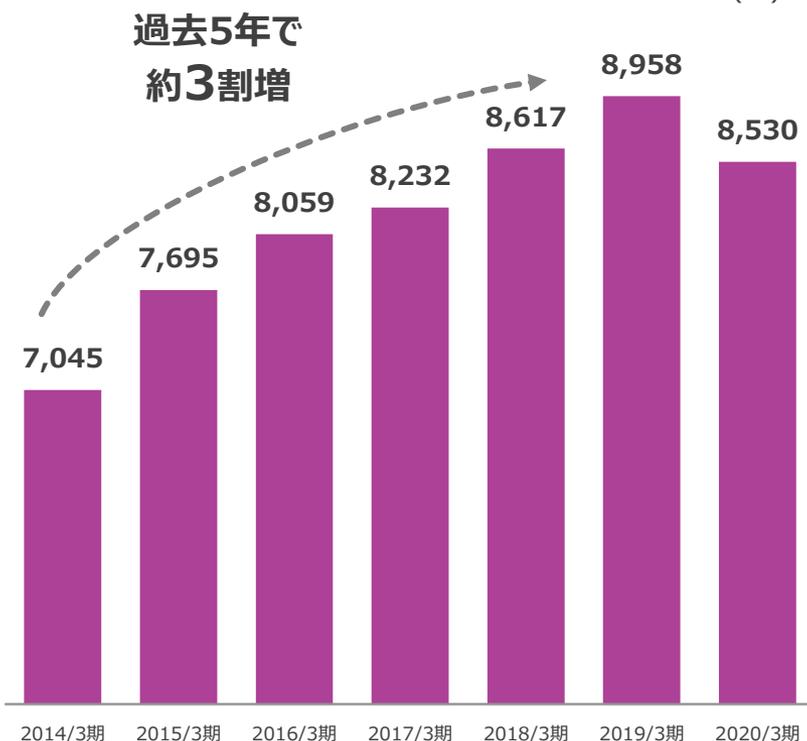


出所：厚生労働省介護保険事業状況報告

- 利用者数は**過去5年で約3割増加（拠点は1.9倍に増加）**
- 利用者はほとんど医療保険法対象者で活動困難者（要支援者、要介護者）
- 社員であるマッサージ師が全国の拠点より利用者宅等を訪問し、施術

## レセプト数の推移

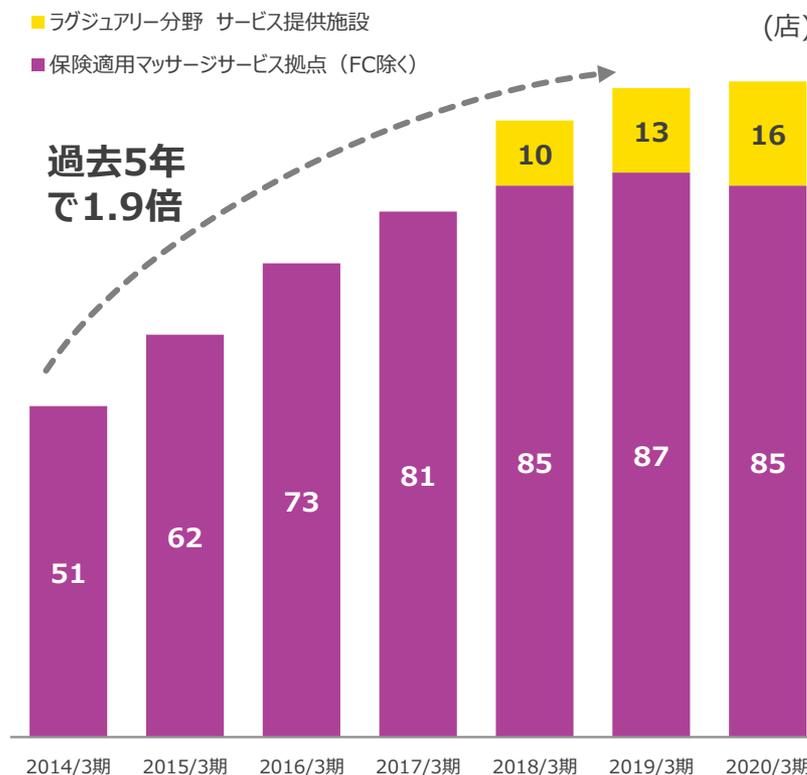
(件)



※レセプト数は、マッサージと鍼灸の合計数を記載しております。

## 拠点展開の推移

(店)



社名	株式会社フレアス Fureasu Co.,Ltd.		
代表者	代表取締役社長 澤登 拓		
創業年月	2000年7月（設立：2002年4月）		
上場	2019年3月		
本店所在地	山梨県中巨摩郡昭和町西条1514番地		
本社所在地	東京都渋谷区初台2丁目5-8西新宿豊国ビル2F		
資本金	289,638（千円）〔2020年9月30日現在〕		
役員構成	代表取締役社長CEO 取締役副社長COO 取締役（社外） 常勤監査役（社外）	澤登 拓 関根 竜哉 千葉 大介 赤池 雅司	監査役(社外) 日浦 正貴 監査役(社外) 古賀 望  〔2020年9月30日現在〕
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マッサージ事業</li> <li>・マッサージフランチャイズ事業</li> <li>・その他の事業</li> </ul>		
売上規模	3,962,577（千円）〔2020年3月期〕		
従業員数	640名〔2020年9月30日現在〕		
拠点	304拠点（在宅マッサージ298、訪問看護5、訪問介護1）〔2020年9月30日現在〕		
連結総資産	3,136,879（千円）〔2020年9月30日現在〕		

\* 上記事業数及び事業所のある都道府県には、FC事業者により運営されている211事業所を含む

年月	内容
2000年7月	山梨県南巨摩郡増穂町にふれあい住宅マッサージを創業し、訪問マッサージ事業開始
2002年4月	訪問マッサージ事業を事業目的とし、山梨県甲府市に「有限会社ふれあい在宅マッサージ」を設立
2005年4月	「有限会社ふれあい在宅マッサージ」を「株式会社ふれあい在宅マッサージ」に組織変更
2011年1月	ダイヤモンド社より特別賞受賞
3月	東京都港区に東京本部を開設
4月	「株式会社フレアス」に商号変更
12月	株式会社セイジョンより訪問看護事業の営業を譲り受け、訪問看護事業を開始
2012年8月	山梨県甲府市にて訪問歯科診療サポート事業を開始
2014年6月	株式会社ピーアンドエヌより訪問看護事業の営業譲受
11月	やまなし産業大賞 受賞
2016年6月	本店所在地を山梨県中巨摩郡昭和町西条に移転
6月	東京本部の名称を東京本社に変更
2017年4月	株式会社星野リゾートと業務委託契約を締結し、ホテルブランド「界」でのマッサージサービス提供を開始
2018年3月	星野リゾート「リゾナーレ八ヶ岳」でのオイルマッサージ(VINO SPA)サービス提供を開始
2019年1月	個人情報保護に関する第三者認証制度JAPHICマーク及びJAPHICメディカルマークを認定取得
2019年3月	東証マザーズ上場
2019年7月	保険適用マッサージサービスに係るフランチャイズの本格展開を開始
2020年6月	株式会社レイスヘルスケアより新設分割された株式会社オルテンシアハーモニーの株式を取得し子会社化

# 財務ハイライト（前期まで）

決算年月		2014年3月	2015年3月	2016年3月	2017年3月	2018年3月	2019年3月	2020年3月
売上高	(千円)	2,335,817	2,594,076	2,744,444	2,900,404	3,284,979	3,711,638	3,962,577
経常利益	(千円)	88,908	61,848	88,468	194,400	193,759	313,003	119,700
当期純利益	(千円)	2,169	36,820	52,727	177,869	109,912	176,563	56,879
資本金	(千円)	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	222,750	289,638
発行済株式総数	(株)	1,000	1,000	1,000	1,000	100,000	2,250,000	2,328,600
純資産額	(千円)	327,764	364,584	417,312	595,181	705,094	1,307,158	1,497,815
総資産額	(千円)	1,165,691	1,134,022	1,353,270	1,588,572	1,973,936	2,491,623	2,505,483
1株当たり純資産額	(円)	327,764.25	364,584.60	417,312.53	297.59	352.55	580.96	643.23
1株当たり当期純利益	(円)	2,169.64	36,820.36	52,727.93	88.93	54.96	88.16	24.48
自己資本比率	(%)	28.12	32.15	30.84	37.47	35.72	52.46	59.8
自己資本利益率	(%)	0.66	10.64	13.49	35.13	16.91	17.55	4.1
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)				184,096	▲39,574	292,433	▲99,729
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)				116,238	▲57,067	▲14,278	▲193,330
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)				▲68,193	379,442	168,071	82,128
現金及び現金同等物の期末残高	(千円)				629,738	912,537	1,358,764	1,147,832
従業員数 (内、平均臨時雇用者数)	(名)	491 (-)	541 (-)	534 (-)	582 (173)	615 (167)	617 (178)	672 (180)

\* 2018年2月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を実施、また、2019年1月8日付で普通株式1株につき20株の株式分割を実施。  
2017年3月期の期首に株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額及び1株当たり純利益金額を計算

## マッサージとは

- 国家資格保持者（あん摩マッサージ指圧師）のみ施術が許される**医業類似行為**
- 医療上、マッサージを必要とする症例について医療保険が適用

## 施術

治療院等の専門の施術所の他、自宅や施設への訪問による施術  
保険適用の場合は、医師の同意書(指示書)が必要

## マッサージ師

指圧院や病院などの法人に勤務。あるいは、個人事業主として開業



**無資格行為**（整体・カイロプラクティック・足のツボ療法・リフレクソロジー・リラクゼーションなど）  
「マッサージ師」資格は不要である一方、医業類似行為は許されず

# 医療及び医業類似行為等の一覧

	病院	接骨院	鍼灸院	マッサージ院	理学療法	整体
施術者	医師	柔道整復師	鍼師・灸師	按摩マッサージ師	理学療法士	整体師
資格 (根拠法)	国家資格 (医師法)	国家資格 (柔道整復師法)	<b>国家資格</b> (あん摩マッサージ指圧師、はり師、 きゆう師等に関する法律)		国家資格 (理学療法士及び 作業療法士法)	民間資格 (一)
行為	医療	医業類似行為 (施術)	<b>医業類似行為</b> (施術)		医療 (リハビリ)	無資格行為 (矯正)
療養費*	42.1兆円	3,636億円	407億円	<b>707億円</b>	-	-

\*2016年度実績。「あはき療養費に関する報告書の各項目の状況について」厚生労働省保健局調査課

### 見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、  
将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

<お問い合わせ先>  
株式会社フレアス  
03-6632-9210  
[ir@fureasu.jp](mailto:ir@fureasu.jp)